

総務企画委員会 県内所管事務調査の概要

【平成30年5月11日（金）】

◆調査箇所：別府市国際交流推進協議会（別府市上野口町）

＜概要＞

同協議会は、ニュージーランドやイングランドの別府市姉妹都市の高校生ラグビーチームを招へいし、親善試合、学校交流などを行い、2019年開催のラグビーワールドカップに向けた機運醸成やインバウンドによる交流人口の拡大に取り組んでいる。

ラグビーワールドカップ2019日本大会に向けた施設整備やキャンプ誘致の取組、公認チームキャンプ地の内定状況、現状と課題、今後のスケジュール等について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・機運醸成を図るための今後の展開について
- ・ラグビーワールドカップ終了後のレガシーについて
- ・欧米からの誘客に向けた観光地づくりのための地域資源のPRについて

◆調査箇所：国民文化祭杵築市実行委員会（杵築市杵築）

＜概要＞

同委員会は、昨年、国民文化祭のプレイベントとして「きつきの茶々茶マーケット」等を開催し、国民文化祭本番に向けた機運の醸成を図ってきたところである。

こうしたプレイベントの取組状況とともに、本年10月に開催される国民文化祭における杵築市でのイベント「きつき大茶会」の準備状況などについて説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・国民文化祭に向けた旧市町村間の交流について
- ・杵築茶を含めた杵築市のPRについて

◆調査箇所：東部振興局、別府県税事務所

＜概要＞

東部振興局については、管内の概況、防災、選挙事務、地域活性化施策として地域活力づくり総合補助金による支援、小規模集落の維持・活性化への支援、観光振興等について、別府県税事務所については、平成30年度重点取組事項、平成29年度県税決算見込額、税目別調定額の累年比較・徴収率の推移、法人事業税業種別調定額累年比較等について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・耶馬溪町斜面崩壊災害に伴う風評被害への総合補助金による支援について
- ・管内における防災について
- ・六郷満山開山1300年について
- ・建設業、製造業の法人事業税について

【平成30年5月14日（月）】

◆調査箇所：中部振興局、公文書館、大分県税事務所

<概要>

中部振興局については、管内の概況、危機管理、地域活性化施策の推進としてのチャレンジ支援事業等、小規模集落応援隊等について、公文書館については、主な業務、施設や事業の概要等について、大分県税事務所については、平成29年度県税決算見込額、税目別調定額の累年比較・徴収率の推移、税目別収入未済額・徴収率の推移、平成29年度県と市町村との連携状況等について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・中部振興局における観光振興、インバウンド対策について
- ・今後の各種イベントにおける中部振興局と本庁関係部局との連携について
- ・国民文化祭において実施した各市町村の催しの、国民文化祭終了後の活用について
- ・個人県民税について

◆調査箇所：湯平温泉観光協会（由布市湯布院町湯平）

<概要>

同協会の概要、取組等について説明を受け、意見交換を行った。

夜の温泉街のにぎわいを取り戻すため、平成27年に石畳通りを中心に夜を彩る赤提灯を設置し、幻想的な風情を醸し出し、温泉街を歩いて楽しんでもらうための仕掛けづくりを行うなど、観光客を呼び込むための新たな取組を進めている。地域活力づくり総合補助金を活用し、赤提灯の設置拡張やチャレンジショップ事業などを実施している。



<主な質疑等>

- ・外国人観光客の交通手段、言語対応について
- ・九州北部豪雨災害による久大線不通の影響について
- ・湯平地域としての防災対策について
- ・チャレンジショップ事業について

◆調査箇所：大分県立美術館（大分市寿町）

<概要>

指定管理者である公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団から、財団の概要、財務状況、組織、開館後3年間における入館者の状況、企画展、国民文化祭、全国障害者芸術文化祭関連特別企画等について説明を受け、意見交換を行った。

引き続き、館内施設の調査も行った。



<主な質疑等>

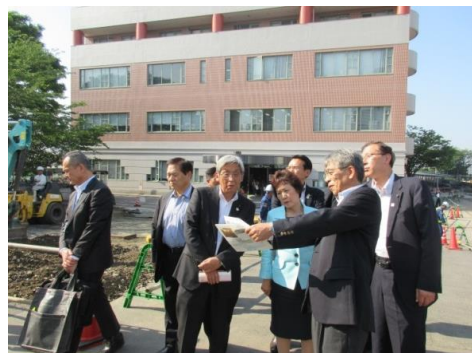
- ・子どもへの取組、教育委員会との連携について
- ・美術館の収支状況について

◆調査箇所：公立大学法人大分県立芸術文化短期大学（大分市上野丘東）

<概要>

大分県立芸術文化短期大学の学科構成、機構・職員組織、教育課程、志願者・入学者の状況、卒業生の進路状況、地域との連携、キャンパス整備等について説明を受け、意見交換を行った。

引き続き、学長等の案内で、芸術デザイン棟、音楽棟での学生オーケストラ演習の様子や美術棟など各施設を視察するとともに、キャンパスの整備状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・国民文化祭への関わりについて
- ・サービスラーニングについて
- ・国際総合学科観光マネジメントコースの就職先について

【平成30年5月21日（月）】

◆調査箇所：公益財団法人大分県自治人材育成センター（大分市旦野原）

<概要>

同センターは、県内の自治体職員の人材育成に関する事業を行い、職員の資質向上、公務能率の向上を図り、もって住民福祉の増進と地域の発展に寄与することを目的に、県と市町村職員の研修を一元的に行っている。

地方創生の実現に資する人材育成を推進するため、職員が主体的・自発的に能力開発を行いキャリア形成が図られるよう研修内容を充実させるなど「政策県庁を担う人材育成推進事業」に取り組んでおり、こうした内容について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・研修講師の選定について
- ・女性職員キャリア支援研修について
- ・地域づくり交流塾、自主活動グループ研究等活動支援について
- ・県・市町村の研修を一元化したことに対する評価について

◆調査箇所：由布市ツーリストインフォメーションセンター（由布市湯布院町川北）

<概要>

広域周遊観光のハブ的な役割を備えた情報発信拠点としてのセンターの概要や、利用者の状況、また、由布市の観光振興・観光まちづくり、由布市内の観光関係組織などについて説明を受け、意見交換を行った。

引き続き、JR由布院駅隣に整備されたセンターを視察した。平日にもかかわらず、外国人を含む多くの観光客が利用していた。



<主な質疑等>

- ・外国語対応の体制等について
- ・地域DMO候補法人登録について
- ・2次交通対策など湯平温泉への対応・対策について

◆調査箇所：住民グループすずれ元気村（日田市鈴連町）

<概要>

同地域は、平成29年7月の九州北部豪雨災害により、大きな被害を受けた地域である。この災害により、集落の維持が危うい状態となる中、奇跡的に被害を免れた空き家を、地域のシンボル、地域住民の交流の拠点として活用し、集落対策を進めている。

被災した当時の状況や復旧・復興の状況、また、すずれ元気村の県の補助金を活用した取組などについて説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・復旧・復興が進む中での課題について
- ・飲食の提供や営業日について
- ・地域の高齢者について

◆調査箇所：西部振興局、日田県税事務所

<概要>

西部振興局については、管内の概況、防災・災害対応、九州北部豪雨災害への対応、地域振興の事例、地域活力づくり総合補助金を活用した風評被害対策や観光振興、JR久大線復旧・運行再開に伴う観光客誘客対策等について、日田県税事務所については、平成30年度重点実施事項、平成29年度県税決算見込額、県税調定額、法人事業税主要業種の調定額推移、徴収率の推移、平成29年度歳出決算見込額等について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・自動車税の延滞金について

【平成30年5月22日（火）】

◆調査箇所：北原人形芝居保存会（中津市北原）

<概要>

同保存会は、これまで、県指定無形民俗文化財である「北原人形芝居」について地元の小学校で放課後に指導を行うなど、地域文化の振興や後継者の育成に努めている。本年10月に開催される国民文化祭では、「九州人形芝居フェスティバル」で披露することとしており、この開催の概要や保存会の活動などについて説明を受け、意見交換を行った。

また、人形芝居の実演を見せていただくとともに、人形そのものにも直に触れさせていただいた。



<主な質疑等>

- ・後継者問題など課題について
- ・保存継承について

◆調査箇所：北部振興局、中津県税事務所

<概要>

北部振興局については、管内の概況、防災・危機管理災関係、九州北部豪雨災害の被害状況、中津市耶馬溪町金吉地区斜面崩壊、地域活力づくり総合補助金を活用した地域・観光振興の取組、小規模集落対策事業等について、中津県税事務所については、平成29年度県税決算見込額、県税調定額の推移、徴収率の推移、平成29年度歳出決算見込額等について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・六郷満山開山1300年記念関連イベントの周知等について
- ・小規模集落対策で支援する取組について
- ・中津市耶馬溪町の斜面崩壊の原因等について
- ・北原人形芝居への継続的な支援、継承について
- ・自動車税の納付について

◆調査箇所：富貴寺（豊後高田市田染落）

<概要>

同寺院は、平安時代に開かれた由緒ある寺院で、中でも、大堂は現存する九州最古の木造建築物であり、国宝指定されている。

本年が六郷満山開山1300年にあたり、誘客キャンペーン実行委員会事務局から、これまでの情報発信、周遊観光づくり、インバウンド対策などの取組や、実行委員会が取材等を受けた広報媒体などについて説明を受け、意見交換を行った。

引き続き、大堂について見学し、説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・駐車場の整備について
- ・六郷満山開山1300年イベント終了後について
- ・定期観光バスの運行について

【平成30年5月31日（木）】

◆調査箇所：大入島地域創生支援協議会（佐伯市大入島）

<概要>

大入島は、平成29年12月に国内外からの誘客促進のため、九州各県の魅力的なトレッキングコース「九州オルレ」の一つ「さいき・大入島コース」として認定され、本年3月にオープンした。

この認定に関する協議会の活動として、コース認定に向けた取組（コース選定調査等）、コース認定後の取組（プレ・オープニングイベントの開催等）等について説明を受け、意見交換を行った。また、大入島の見どころの一つ「神の井」、コースの一部「舟隠」を視察した。



<主な質疑等>

- ・事業、取組を承継する人材の確保について
- ・大入島における観光客の消費の方策について
- ・離島振興法の活用について

◆調査箇所：佐伯市民ミュージカル（佐伯市中村東町）

<概要>

佐伯市子どもミュージカル実行委員会では、平成27年度から、佐伯市教育委員会の事業として、佐伯市子どもミュージカルを実施しており、本年の国民文化祭の事業として、佐伯市にゆかりのある子どもから大人まで、総勢100名ほどが参加するミュージカルの公演を予定している。

この取組の目的や内容、子どもたちの生き生きとした練習風景を映像を交えながら説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ミュージカルの運営について
- ・全国障害者芸術・文化祭についての視点について
- ・県内の市民ミュージカルの交流について

◆調査箇所：南部振興局、佐伯県税事務所

<概要>

南部振興局については、管内の概況、地域活力づくり総合補助金を活用した地域創生や、小規模集落支援事業費補助金を活用した主な取組、また重点課題等について、佐伯県税事務所については、平成30年度の課題、平成29年度県税決算見込額、調定額・徴収率の推移、法人事業税主要業種の調定額の推移等について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・農林水産業の産出額アップに向けた取組、市町村との連携について
- ・買い物支援、林業現場におけるドローン活用の実用性について
- ・地域振興の在り方について
- ・ネットワーク・コミュニティ推進モデル委託事業の今後の取組について
- ・不動産取得税の調定額の推移について

【平成30年6月1日（金）】

◆調査箇所：障害者支援施設めぶき園（豊後大野市犬飼町下津尾）

<概要>

同施設は、本人の人生や生きがいを尊重し、自己実現を目指す立場から、自閉症の方々の特性をいかしたアート、陶芸、機織り等の創作活動に取り組んでおり、アートを通じた障がい者の自立や社会参加を後押ししている。施設の概要や障がい者のアート活動、これまでの取組や全国障がい者作品展への出展といった今後の予定等について説明を受け、意見交換を行った。

引き続き、施設内でのアート活動の様子について視察した。



<主な質疑等>

- ・作品の販売について
- ・保護者への対応について
- ・児童の退所について

◆調査箇所：豊肥振興局、豊後大野県税事務所

<概要>

豊肥振興局については、管内の概況、重点項目、地域活力づくり総合補助金を活用した地域創生の主な取組、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録エリア整備事業等について、豊後大野県税事務所については、平成30年度重点実施事項、平成29年度県税決算見込額、調定額・徴収率の推移、法人事業税主要業種の調定額の推移等について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・地域創生における農林水産業の振興と萩町の出生率について
- ・中九州横断道路の竹田までの供用開始による道の駅の今後について
- ・ユネスコエコパーク、ジオパークによる観光客の伸びについて
- ・農業の地域振興への活用について
- ・県税事務所の統廃合、市町村への県税職員の派遣について

◆調査箇所：竹田キリシタン研究所資料館（竹田市竹田町）

<概要>

同資料館は、平成29年10月に竹田市のキリシタン文化の発信拠点として開館し、竹田に受け継がれる「キリシタン遺物」や貴重な資料の展示、保存をはじめ、市内観光の総合ガイドスも行うなど、観光客の呼び込みやにぎわいの創出に努めている。

本年10月の国民文化祭に向けて、「おおいた大茶会」というテーマに沿って、「茶道とキリシタン文化」をコンセプトに、茶会や特別企画展を企画しており、こうした取組について説明を受け、意見交換を行った。

引き続き、資料館内の資料や展示物について視察した。



<主な質疑等>

- ・資料館を訪れる観光客の空港利用について
- ・JR利用の観光客の周遊について